

# ＝第2回「東京大学学生発明コンテスト」開催＝



1月7日、東京大学山上会館にて「第2回東京大学学生発明コンテスト」の表彰式が行われた。

表彰式では、西尾茂文生産技術研究所長による挨拶、石川正俊副学長・産学連携本部長による来賓の挨拶の後、受賞者に対して各賞に対する表彰状、楯、副賞が贈呈された。優秀賞は、「自転車スタンドロック」を発明した大学院工学系研究科システム量子工学専攻・修士2年の大久保康平君、「よく知られた医薬品を用いた金のナノめっき技術」を発明した工学系研究科電子工学専攻・博士2年の梅野顕憲君および「病气原因物質除去フィルター」を発明した工学系研究科化学生命工学専攻・博士2年の宮川淳君に授与された。今回のコンテストでは日常生活から生まれた「学生らしい」発明が若干少なく、自らの研究に関連した極めて高度な発明が多く表彰された。

このコンテストは、学生が発明や知的財産権に対する理解を深めることを目的に、生産技術研究所・産学連携委員会（委員長・畑中研一教授）と財団法人生産技術研究奨励会（TLO）の主催で企画されたもの。本コンテストの詳細や今後の予定などは、発明コンテストのホームページで。

(<http://hatsumei.iis.u-tokyo.ac.jp>)